

令和 6 年度

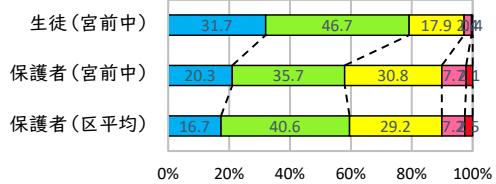
1 月集計

生徒・保護者 【杉並区教育調査】アンケート結果

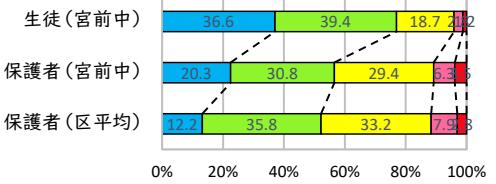
杉並区立宮前中学校

5とても思う 4やや思う 3どちらともいえない 2あまり思わない 1思わない

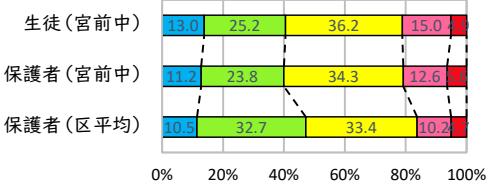
1・授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている



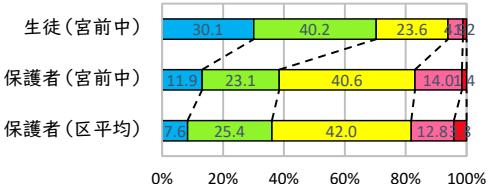
3・学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる



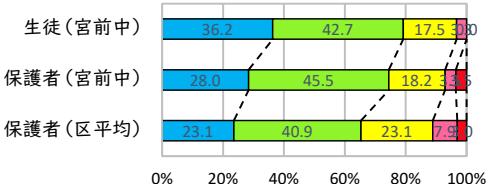
5・連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている



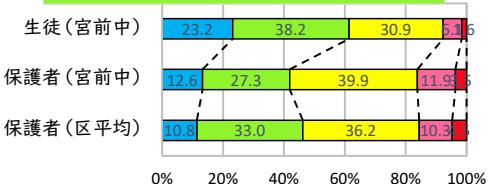
7・学校の教室や校舎、敷地内には、生徒たち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている



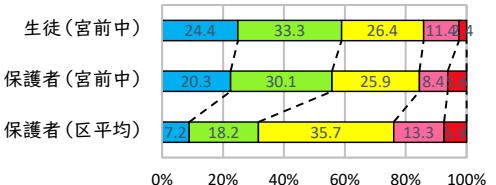
9・学校は、生徒の日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している



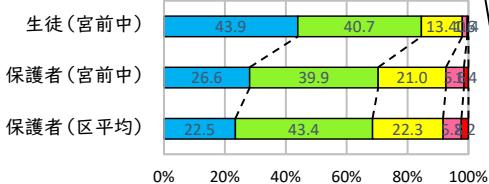
11・教職員、地域の方々等とかかりわり、自分の成長や学校生活について考えたり話したりすることができている



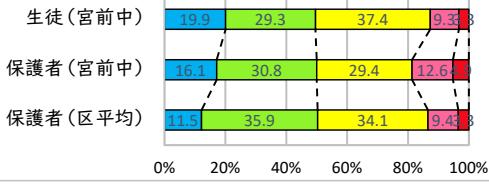
13・学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている



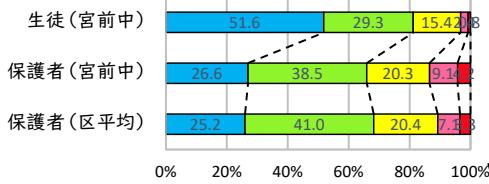
2・学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を自分たちで変えるための知識や考え方方が身に付いている



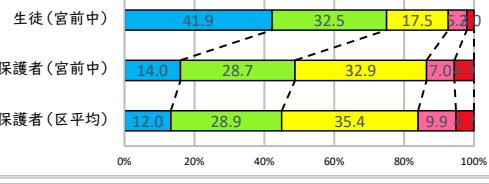
4・学校は、あなたが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している



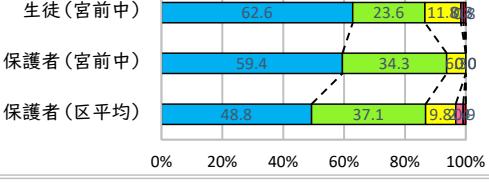
6・1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している



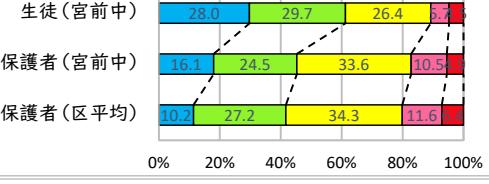
8・学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある



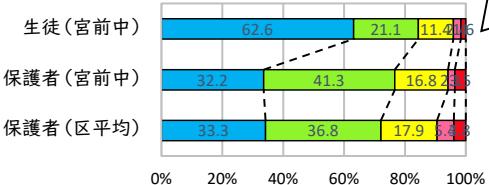
10・学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている



12・あなたが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を支援してくれている



14・学校生活を楽しんでいる



令和6年度の教育調査は、保護者宛の調査について杉並区教育委員会から直接totoruで配信されました。

宮前中学校の令和6年度家庭数は330で、143件の回答をいただきました。令和6年度保護者回答率は43.3%で、令和5年度の同57.9%よりも低下しました。

杉並区教育委員会からのtotoru発信数が多く、保護者の方で教育委員会からの教育調査アンケートに気がつかなかった家庭があったかもしれません。

令和6年度は区教育委員会から生徒向けの教育調査は実施しない方針であったため、保護者向けの質問項目を生徒向けに調整して宮前中独自で生徒の教育調査を実施しました。

小中一貫教育について、令和6年度は中学校の教員が小学校授業参観し、小中合同研修を7月に実施しました。また、12月の宮前スマイル広場（地域行事）では近隣小学校児童と宮前中学校生徒が舞台発表やイベントで交流しました。近隣小学校との連携をより効果的に実施する方法を検討します。

多くの質問項目で

(生徒の肯定率) > (宮前中保護者の肯定率) > (区平均の保護者肯定率)

となっています。

生徒は多くの項目で充実した学校生活を過ごすことができているようですが、保護者の皆さんにはその状況が充分に伝わっていないようです。充実した生徒の学校生活が保護者の皆さん、地域の皆さんにも伝わるよう発信する努力をします。

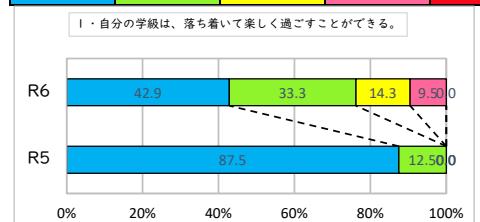
令和 6 年度

1 月

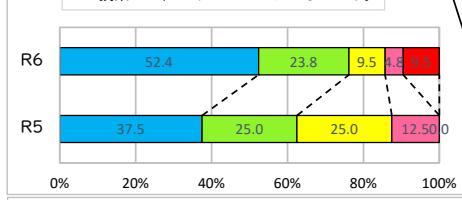
E組（特別支援学級）生徒 アンケート結果

杉並区立宮前中学校

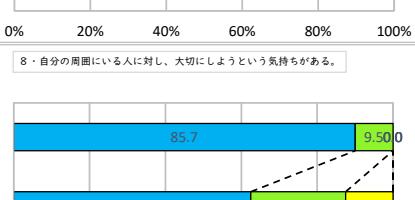
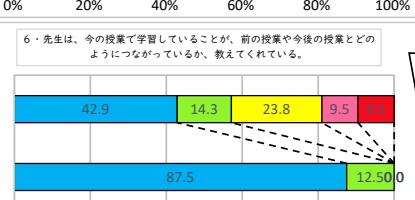
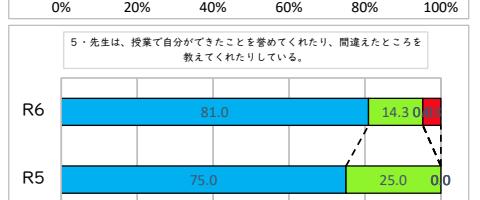
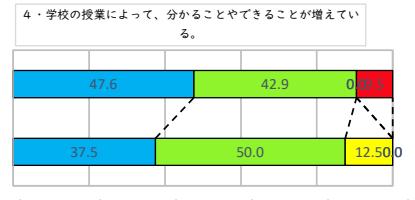
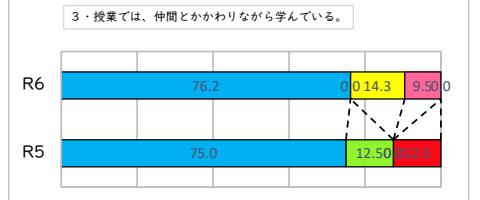
5とてもそう思う 4ややそう思う 3どちらともいえない 2あまり思わない 1思わない



2・授業では、やりたいことができている。



通常学級生徒と同様に、令和6年度は杉並区教育委員会から特別支援学級生徒向けの教育調査は実施しない方針であったため、昨年度（令和5年度：R5）、特別支援学級生徒に実施した質問項目で宮前中特別支援学級生徒にアンケートを実施しました。
*令和5年度の調査時に特別支援学級生徒ではインフルエンザ欠席者が多数だったため、回答数はR5は8名でした。令和6年度（R6）は21名の回答結果集計です。

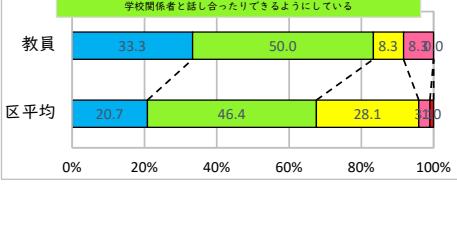
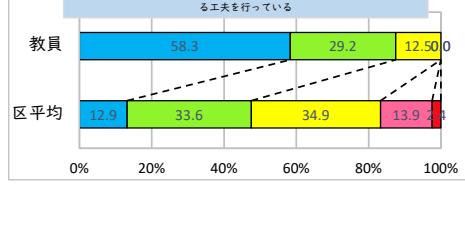
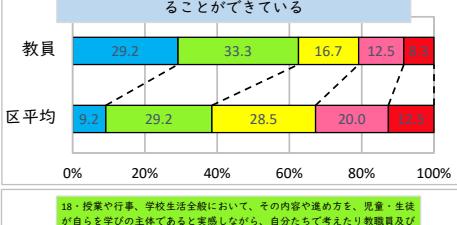
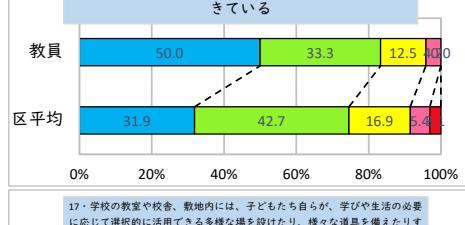
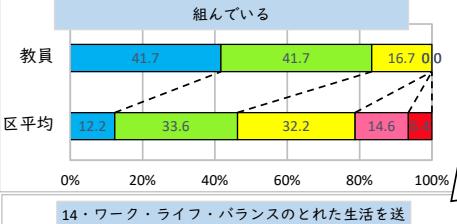
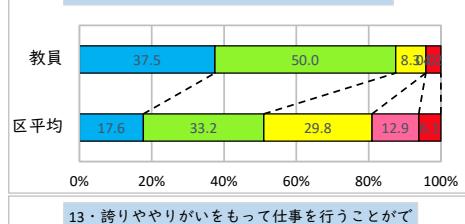
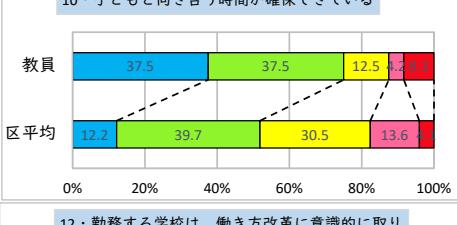
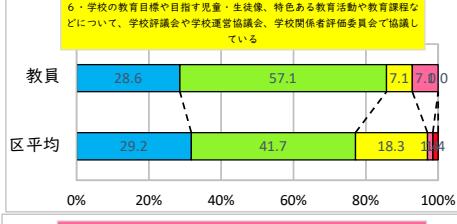
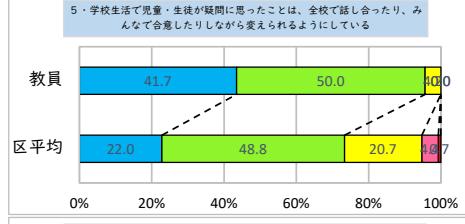
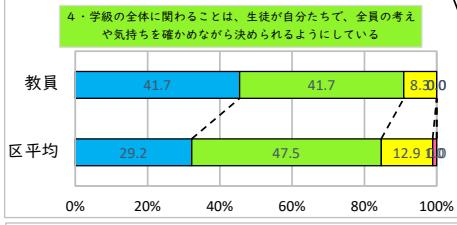
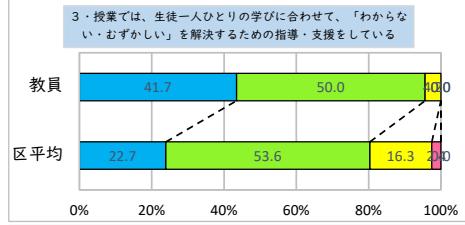
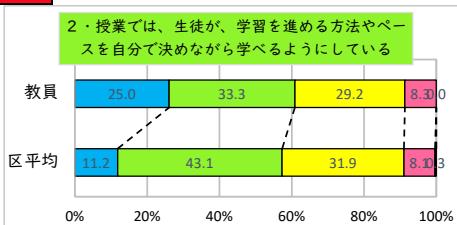
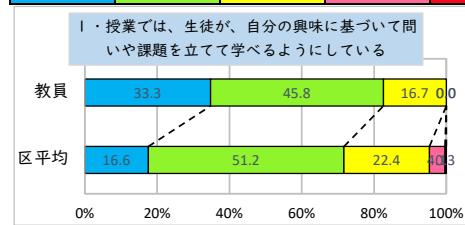


宮前中学校の特別支援学級では令和5年度よりも在籍生徒数が増えて、より多様な生徒同士の交流ができるようになりました。令和7年度も、在籍生徒数が増える見込みとなっています。生徒ひとり一人の多様性を認めつつ、相互理解をはかり、多様な経験を通して成長を実感することができる教育課程を実践します。

令和 6 年度 1 月
杉並区立宮前中学校

教員 【杉並区教育調査】アンケート結果

5とても思う 4やうそう思う 3どちらともいえない 2あまり思わない 1思わない



令和6年度当初、宮前中学校は教員の異動により校長をはじめ8名の教員が異動着任しました。

全体的に教員の肯定率は区平均より高く、生徒の主体性、生徒による「自治の精神」を大切に学校を運営しています。

授業では、生徒一人ひとりの様子を教員同士で情報交換をして理解し、生徒が主体的に学び、話し合い等の意見交換を通して解決できるように配慮しています。

学校運営協議会や地域、民間団体や外部諸機関との連携についてはやや不足しています。また、小学校との連携については毎年7月に近隣小中学校との研修を実施していますが、研修の機会は不十分なため、改善を図ります。

児童・生徒の交流の機会として12月合唱祭後に近隣小学校への出前合唱披露を実施し、小学校児童に対して9月に宮前中学校での中学校授業体験を実施しています。

様々な連携、つながりの機会を増やして豊かな成長につながるよう改善を継続します。

宮前中学校では部活動指導員を活用して教員の働き方改革を推進しています。

個々の教員のタイムマネジメント意識を向上させ、生徒と向き合う時間を確保しつつ教育の質を保ち、教員の誇りやライフ・ワーク・バランスを大切に教育にあたる環境を整えます。

教員の勤務環境の改善にご理解、ご協力をお願いいたします。

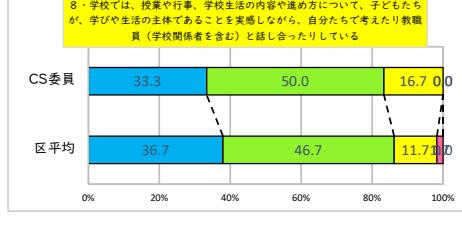
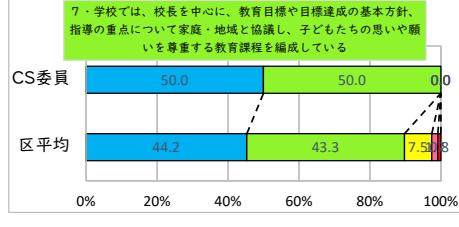
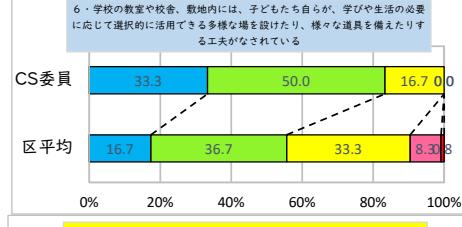
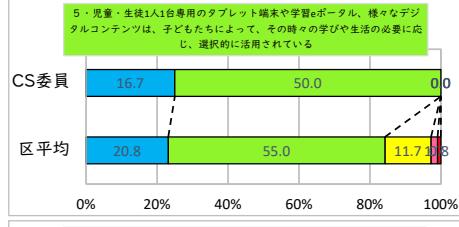
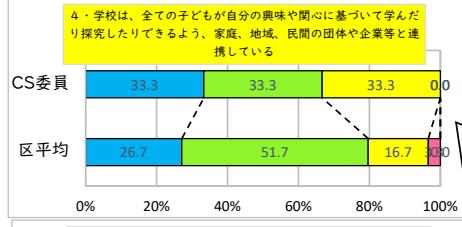
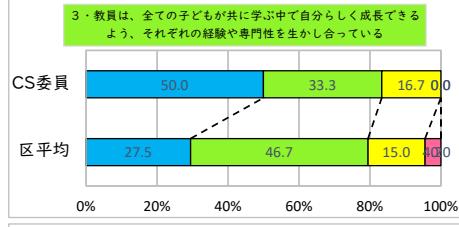
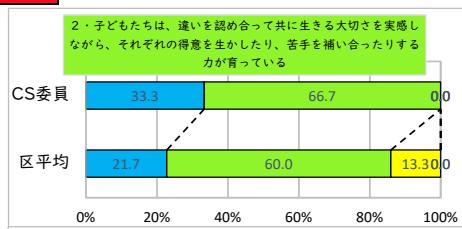
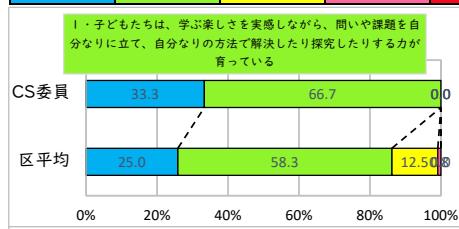
令和 6 年度

1 月

学校運営協議会（CS）委員 アンケート結果

杉並区立宮前中学校

5とても思う 4ややと思う 3どちらともいえない 2あまり思わない 1思わない



杉並区立学校では全校に「学校運営協議会」が設置されています。

「学校運営協議会」を設置している学校をCommunity School (CS) と呼び、宮前中学校でも11名の運営協議会委員（CS委員）の方と校長が、毎月、学校運営についての情報交換、協議を通して学校運営の改善に取り組んでいます。

宮前中学校のCS委員の方からの評価は概ね区平均値を上回る肯定率となっています。

特に6「校内における多様な場」の設置について高い評価をいただいています。これはCS委員の方に校内別室運営にご協力いただいていることによるものと考えられます。一方、8「生徒と教職員（学校関係者）との話し合い」については区平均よりやや低い評価となっています。CS委員の方と生徒との話し合いの場を設定するなどの工夫改善を検討しています。